株式会社 DMC aizu

索 道 安 全 報 告 書　令和６年度分

（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

絶　景・猪　苗　代　ス　キ　ー　場

猪苗代　第１クワッドリフト（ベース第１クワッドリフト）
猪苗代　第２ペアパラリフトＡ線（スカイ第６ペアパラリフト）
猪苗代　町営クワッドリフト（ベース第２初心者リフト）
猪苗代　第３ロマンスリフト（ベース第３ファミリーリフト）
猪苗代　第５ロマンスリフト（スカイ第５ロマンスリフト）
猪苗代　第６ロマンスリフト（スカイ第４パノラマリフト）
新菱猪苗代第１クワッドリフト（ミネロ第１フード付リフト）
新菱猪苗代第２ペアパラリフト　ＡＢ線（ミネロ第２初級者リフト）
新菱猪苗代第３ペアリフト（ミネロ第３ロマンスリフト）
新菱猪苗代第４ペアリフト（ミネロ第４ロマンスリフト）

１．利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。
当社は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一に掲げ、全社一丸となって皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解を頂くために公表するものであります。皆様からの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 DMC aizu
代表取締役社長　遠藤　昭二

２．基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のようにあげ、
代表取締役以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努める。

2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を理解するとともにこれを遵守し厳正、忠実に職務を遂行すること。

3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。

4. 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、
疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。

5. 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、
すみやかに安全適切な処置をとること。

6. 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

7. 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めること。

⑵　安全目標

索道輸送安全目標は次表のとおりです。今年度も索道運転事故（人身傷害事故）の発生はなく、無事終了することができました。引き続き従業員一同、安全意識の向上を揚げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数０をめざす

３．事故等の発生状況とその再発防止措置

１．索道運転事故（索道人身傷害事故）

令和６年度、索道運転事故は０件

２．災害　（地震・風害・豪雪など）

令和６年度　災害による運行停止はありません。

冬季シーズン、強風のためのリフト停止はありません。

（雨・霧等・積雪不足によるコース閉鎖によるリフト運行停止は含まない）

３．インシデント（事故の兆候）

令和６年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

４．行政指導等

特になし。

４．輸送の安全確保のための取組み

⑴　人材教育

当社では、お客様が安心してリフト（索道施設）をご利用いただけるよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育訓練を実施しています。全従業員の安全意識を向上させるとともに、どのような事態にも対応できるよう、シミュレーション訓練を行っています。

⑵　各種索道研修会の参加

東北索道協会主催

令和６年度索道技術管理委員研修会

令和６年度索道技術管理者研修会

(3)　緊急時対応訓練

毎年、安全教育訓練と併せて全従業員にて救助訓練を実施しております。
尚、10 月に消防署との合同救助訓練実施。

消防署合同救助訓練

座学講和

救助訓練

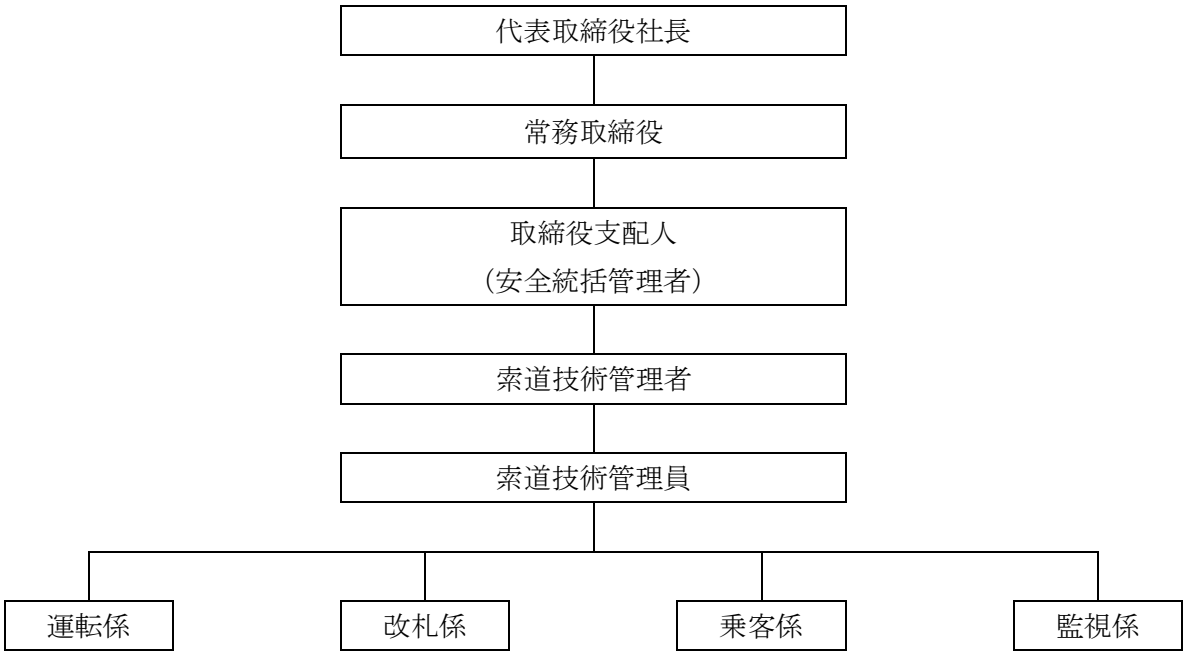
(4)　安全のための投資と支出

握索機整備の他に安全の維持・向上のため、計画的に施設修繕を実施しました。

ベース第１リフト	握索機分解整備半数
ベース第２リフト	握索機分解整備全数
ミネロ第１リフト	握索機分解整備（当期分 1/3 実施）

５．当社の安全管理体制

取締役を中心とした安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、日報等を通じ改善提案等を索道技術管理員へ報告、朝礼などを通じ日々の業務に反映させております。



代表取締役社長	グループ全体の安全を管理し、最終的責任を有する。
常務取締役	現地責任者として安全に関する責任を有する。
取締役支配人 （安全統括管理者）	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の業務を補助する。

６．利用者の皆様の連帯とお願い

(1)「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される索道（リフト）運行を行うため、皆様からお寄せいただいた声を役立てています。お客様の期待に応えられるよう努めて参ります。

(2) リフト乗車時の注意事項

① リフト乗車に不慣れなお客様は、係員にその旨を申し出て下さい。
② 空き缶・タバコの吸い殻・その他の物品を乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
③ 搬器（いす）から飛び降りたり、搬器（いす）を揺らさないで下さい。【脱索（ワイヤーが外れる）事故の要因になります。】
④ 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻きつかないように注意してください。
⑤ 改札後は係員の指示に従って下さい。
⑥ 止まる、転ぶという最低限の技術がない場合はリフトのご乗車をご遠慮ください。
⑦ リフトは急停止する場合があります。また、停止が長引く場合には、救助を行うこともありますので、お子様だけの乗車は避け、保護者の方の同乗をお願いいたします。
⑧ ベース第１クワッドリフト・ミネロ第 1 フード付きリフト以外のリフトの下り線乗車はできません。

７．ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒969－3102 福島県耶麻郡猪苗代町字葉山 7105
猪苗代スキー場　　株式会社 DMC aizu
℡ 0242−62−5100　　Fax 0242−62−5532
E-mail：info@inawashiro-ski.com